

小松川第一中学校応援団実践報告書

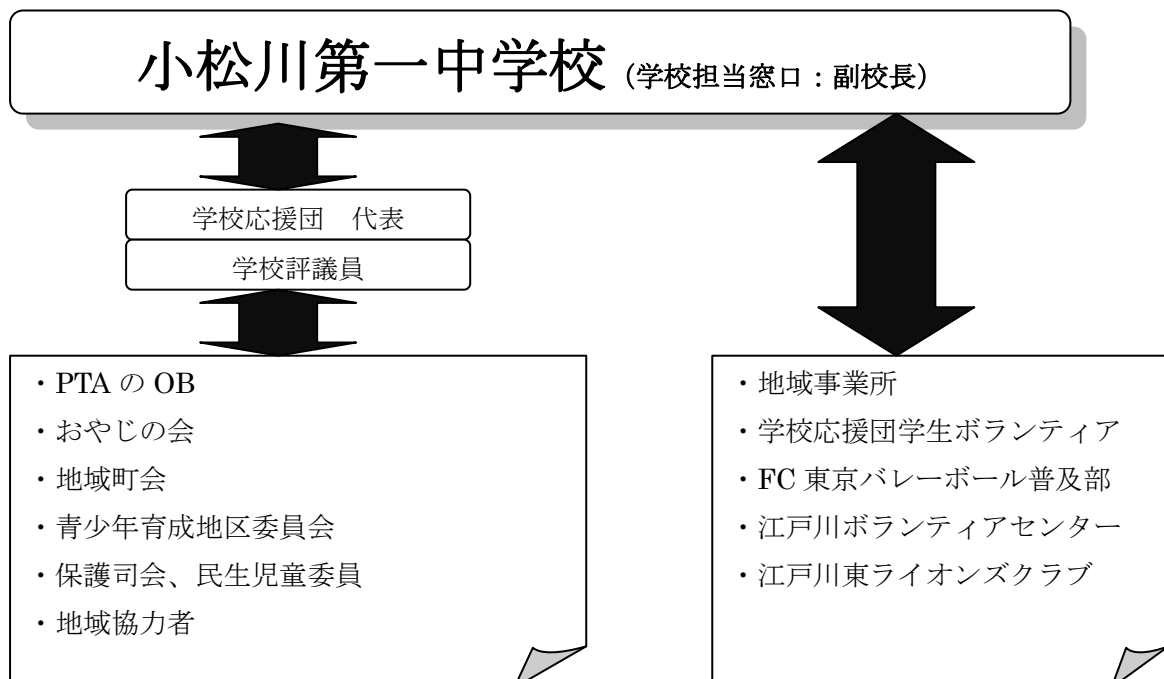
1 校長及び代表氏名

小松川第一中学校長 宮川 昇
代表 高橋 博幸

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	朝のあいさつ運動 運動会パトロール 夏季パトロール 要配慮家庭への働きかけ	○登校時に朝のあいさつを行う。 ○運動会中の安全を見守る。 ○夜間パトロール。 ○様々な家庭に対する支援をする。
学習活動	道徳授業地区公開講座の 地域ゲストティーチャー 薬物乱用防止教室の講師 体育実技（バレーボール） 学習サポート教室	○道徳授業地区公開講座のゲストティーチャーとして講演をする。 ○薬物乱用防止教室で講演をする。 ○保健体育の時間に、実業団の方が指導補助をする。 ○放課後に教室を設け生徒の質問に答える。
体験活動	こまいち祭り 福祉体験 職業体験発表会 合唱コンクール	○生徒と共に食べ物等を販売する。 ○白杖や車いす等の体験や講演をする。 ○体験先の職場の方に参加してもらう。 ○合唱指導と地域審査員。
地域活動	連合町会運動会 小松川平井マラソン運営	○運動会運営の手伝いと競技参加。 ○大会の運営の手伝いと競技参加。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

運動会では、おやじの会を中心にパトロールを行い、無事故の運営が出来た。道徳授業地区公開講座の地域ゲストティーチャーをしていただいた保護司の方や、薬物乱用防止教室の講師に来ていただいた地域ライオンズクラブの方など、地域と密着した話の内容となり生徒の意識の向上が見られた。また、こまいち祭りではPTAのOBや地域の方、おやじの会の方々に協力していただき祭りを運営することが出来ている。職業体験では、地域の体験先事業所の方に体験後の発表会にも参加して頂き、まとめ学習の成果を見て頂いている。

地域の方々と、様々な機会にふれ合い、活動していくなかで、日頃から生徒たちが地域の方々に見守られながら生活していることを実感している。地域の目が行き届き、生徒の健全育成に良い影響を与え、落ち着いた生活や、大人の指導を聞き入れる態度を身につけている。

地域行事のボランティア活動参加では、連合町会大運動会ボランティアに91名、自転車盗ゼロ運動に70名、小松川平井マラソンの運営ボランティアに70名の生徒が参加し、地域の方々に応援してもらうだけでなく、地域の一員として活躍することも出来た。各活動では、生徒がいきいきとした表情で活動に参加し、地域の方々からたくさんのお話を学ぶことが出来た。

また、大学生の学生ボランティアによって、学習サポート教室を開き、生徒の習熟度に応じた指導を推進することが出来た。

<課題>

地域の方々の献身的な応援によって支えられている部分強いことが課題である。また、大学生の学習ボランティアを見つけることも毎年の課題となっている。

5 代表より

学校応援団として、学校・保護者・地域が一体となり、地域ぐるみで“子どもたちを見守り、育てていく”ために、保護者・地域の方々の自らの経験・知識や技能を生かし「できる人が、できる時に、できる事を」基本に行っていければと思います。

6 学校長より

本校では、学校・地域・家庭と連携した様々な取り組みを3つに分け、「学校を活動の場とした取組」、「地域を活動の場とした取組」を学校応援団の活動として構築しました。連合町会の運動会や地域マラソン大会は、他の地域でも見られますが、本校では青少年育成地区委員会と連携し、地域を担う一員として、生徒がその運営に携わる取り組みがあります。連合町会運動会は地域の指導体制も整っていますが、中学生の協力なしには運営出来ない状況にあります。この取り組みは「地域を活動の場とした取組」として位置付けています。

また、特に地域が力を入れた小松川・平井地区総合防災訓練では97名の生徒が参加しています。この取り組みは「地域行事・ボランティア活動への参加」に位置付けています。